

三方よし - Ver 3 -

高P連会長 前川久幸（石山高校 会長）

平素よりPTA活動に際しまして、ご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行し、社会生活がようやく以前の日常を取り戻せてきたように思います。

しかし、地球温暖化による新たな感染症リスクの増大や、世界では様々な地域で地政学的なリスクの高まり、ITテクノロジーが急速に進化するなど、社会の変化はますます複雑で先行きが見通せない時代になってきています。

さて、「滋賀の教育大綱」をご存知でしょうか。時代の変化にたくましく向き合い、持続可能な社会づくりに参画する人づくりのため、24年4月から、5年間の県教育方針と施策の体系を示す「第4期滋賀県教育振興基本計画」として策定されました。施策には3つの柱（①夢と生きる力を育む ②学びの基盤を支える ③みんなで学びに関わる）があり、それぞれに目標項目が掲げられています。

目標に向けて、少しでも貢献できるPTA活動を考えて行きたいものです。

その活動を検討する上で役立つヒントや教材が掲載されているサイトが、県教育委員会から提供されています。参考にして頂ければと思います。

（滋賀県学習情報提供システム におねっと <https://www.nionet.jp>）

最近、アタッチメントという言葉をよく耳にします。お互いに頼ったり頼られたり、助けてといえる関係、人とのつながりで得られる安心感は重要です。

そのことを考えさせられた物語に最近出会いました。

24年本屋大賞受賞作品「成瀬は天下を取りに行く」です。

物語に登場する大津市のヒロイン成瀬あかりは、奇想天外なキャラクターで、何かにチャレンジすることを良しとしている人物で、どんな小さいことでもチャレンジするのがモットーのようです。そんな成瀬の周囲の人たちは、新しい価値観に気がつき、影響を受けていく物語です。

しかし、成瀬は、学年が上がるにつれ、周りから孤立していくのですが、幼馴染とのつながりが、成瀬の「安心の基地」となり、マイペースに生きていけているのではないかと感じました。私はこの物語を読んでとても元気をもらいました。

最後になりますが、教育現場を支えてくださっている先生方、PTA会員の皆様と共に、生徒さんたちが安心して学び、成長できる環境づくりに取り組んで参りたいと思います。PTA活動が「安心の基地」に繋がっていきますよう、今後とも、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。